

神戸市政報告

兵庫区版

まじめに働く方が、正しく報われる社会。

編集・発行:自由民主党神戸市会議員団兵庫区第2支部
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL078-322-5846
<http://www.jimin-kobe.com>

自由民主党神戸市会議員団

神戸市会議員

兵庫区

守屋隆司

もり や たか し



定例会本会議で
質問する守屋隆司

BE KOBE

令和3年2月25日 令和3年第1回定例会本会議で代表質問を行いました。ウラ面に議事録(抜粋)を掲載いたしました。ぜひ、ご覧ください。▶▶

神戸市の予算 令和3年度

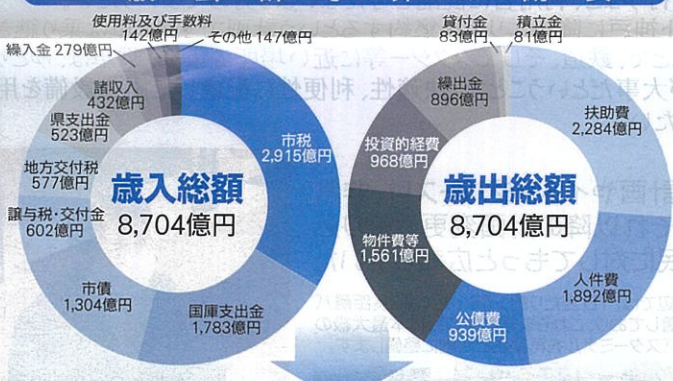
海と山が育むグローバル貢献都市の実現

令和3年度予算では、令和2年度2月補正とあわせ一体的に切れ目なく、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と医療提供体制の安定的確保、市民生活・経済活動の維持・回復に、最優先で取り組みます。また、都心部に近接した海や里山など神戸の豊かな資源を活かした人間らしい、あたたかみのある生活スタイルの創造と、安定した経済成長と市民所得の向上をめざし、公共空間のリノベーションや経済基盤の構築など、暮らしと都市の価値を高めることにより、「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現に向けて確かな歩みを進めていきます。

予算総額: 1兆8,531億円 (前年比:-60億円)

- 一般会計: 8,704億円(前年比:+317億円)
- 特別会計: 6,535億円(前年比:-173億円)
- 企業会計: 3,292億円(前年比:-204億円)

一般会計予算の概要



神戸市のお金の使い道(予算)をわかりやすく

一般会計の支出を 57万円にします

| | | |
|------------------|----------------------------------|--------------------|
| 福祉の充実に 23.3万円 | 教育・文化の振興に 9.3万円 | 環境・衛生の向上に 4.7万円 |
| 産業の振興に 0.8万円 | 住宅・まちづくりに 2.1万円 | 道路・公園に 3.4万円 |
| 消防・救急に 1.3万円 | 市会・区役所・市役所の 行政の運営などに 5.9万円 | 市債の返済に 6.2万円 |

ごあいさつ

コロナ禍の中、皆様には日々ご苦勞されている事と思います。心よりお見舞い申し上げます。ようやく緊急事態宣言が解除されましたが、収束には至っておりません。三密に気を付けながら、命と生活を守って行かなくてはなりません。

さて、神戸市会におきましては、「神戸市令和3年度当初予算案及び関連議案」の審査が行われました。コロナ対策の強化、積極的な経済対策、ワクチン接種体制の確立等市民が平穏な日常を取り戻せるよう積極的な予算提案され成立いたしました。

私も自民党神戸市会議員団を代表して代表質問に登壇いたしました。また、予算特別委員会分科会におきましては、「選挙管理委員会・行財政局・市長室・交通局」に質疑いたしました。本紙において、質疑要旨についてご報告させていただきます。

これからも、市民生活の安定、安心安全なまちづくり、持続可能な神戸市発展の礎を築くため、努力してまいります。

神戸市会議員 守屋隆司

神戸市会予算特別委員会分科会において 局別審査を行いました

選挙管理委員会 令和3年3月1日

市長選挙の記号式投票に関する条例
■質問:守屋隆司
公職選挙法上は首長だけではなく議員もできるということになっていますが、今回、市長だけを提案したというのはどうしてか。

■答弁:廣瀬選挙管理委員会事務局長
新しく採用する記号式投票を、まず、候補者数が少ない市長選挙で確実に実施し、効果や課題を検証した上で、将来的に市会議員の選挙に採用できるかどうか検討したい。

行財政局 令和3年3月1日

行財政改革2025について
■質問:守屋隆司
この方針の柱の1つが行政手続のスマート化率70%と聞いています。実現に向けた取り組みについてお伺いしたい。

■答弁:小原行財政局長
生産年齢人口が減少する中で、行政手続のスマート化を最重要項目の1つとして位置づけています。電子申請だけでなく、利用者の利便性の向上、職員の業務の生産性向上という観点から、最適化を図る手続も併せて実施していきたい。

■質問:守屋隆司
税務業務改革を進めるうえでは、市税のキャッシュレス決済を更に進めていくべき。

■答弁:筒井市長室長
①来庁を不要にする市民サービスの向上②業務の効率化③将来の全国的な効率化を見据えた標準パッケージシステム…この3本柱で頑張っていきたい。7年度までに約1万8,000時間の内部事務を効率化していきたい。



市長室 令和3年3月1日

国際交流の推進について

■質問:守屋隆司
神戸国際協力交流センターが再編・拡充された。その内容についてお聞きしたい。

■答弁:筒井市長室長
新長田駅から徒歩5分のアスタくづかに本部拠点を移設。これに併せて、三宮駅、阪神御影駅近くの町なか近郊で新たな拠点を整備します。

■質問:守屋隆司
日本のシステムを勉強してもらうためにも留学生を区役所等採用してはどうか。

■答弁:筒井市長室長
区の実情に合わせ、要望があれば積極的にアシストして進めたい。

交通局 令和3年3月5日

■要望:守屋隆司
コロナ禍で経営状況が厳しい中であるから、なおさら運転マナー・サービスの向上に努めるべきではないか。関係機関と連携して市バス走行環境の改善に努めるべきである。

排出ガスが少ないクリーンなエンジンを搭載した車両に順次更新。さらに、CNGバス(圧縮天然ガスバス)やハイブリッドバスなど、低公害バスを導入しています。



答弁の詳細は、[神戸市会のホームページ](#)で。

お知らせ
新型コロナ ワクチン接種
コールセンター開設
078-277-3320
E-mail:pwd-vaccine-kobecity@persol.co.jp

兵庫区集団接種会場 兵庫区役所/イオンモール神戸南(車で来場可)

受付時間 平日(月~金)/08:30~20:00
休日(土日祝)/08:30~17:30
相談内容 新型コロナウイルス接種に関する相談
●神戸市におけるワクチン接種のスケジュールに関する問い合わせ●ワクチンの接種を受けるための手続きに関する問い合わせ●接種券の送付に関する問い合わせ など
対応言語 日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語
※日本語以外は三者間通話対応

ワクチン接種は無料です。お金はかかりません!



神戸市令和3年度当初予算に対する 自由民主党神戸市会議員団 代表質問

議事録抜粋

新型コロナウイルス感染症の医療提供体制について

①ワクチンの優先接種について

■質問:守屋隆司

介護福祉施設等の入居施設においてクラスターが発生し、一定期間職員が不足し、施設内において入居者への適切な介護ができない事態が発生しているとお聞きします。高齢者や障害者に安心して生活支援を行うためにも、施設職員も医療従事者と同様に優先接種の対象となるよう、国に働きかけることが必要ではないでしょうか。仮にこれが困難としても、高齢者と同じく優先的に接種を行えるよう、本市としても取り組むべきと考えます。当局の御見解をお伺いします。

■答弁:久元市長

高齢者施設の従事者につきましては、施設内のクラスター対策のため、入所者と同じタイミングで接種できるとされており、神戸市におきましては、入所されている高齢者と同じく優先的に接種を受けていただきたいと思います。また、高齢者が入所する障害者支援施設や救護施設などの社会福祉施設におきましては、利用者へ直接接する職員につきましては、基礎疾患を有する方と並んで、高齢者に次ぐ接種順位と位置づけられておりますので、優先接種の対象になるものと考えております。

②転院先の病床確保について

■質問:守屋隆司

新型コロナウイルス感染症患者による病床利用率は依然として高く、予断を許さない状況です。このたび、新型コロナウイルス感染症から回復した患者の転院を促すため、受入れ患者から院内感染が発生し、病棟閉鎖を強いられた場合に、損失を補填する本市独自の支援制度が設けられました。転院確保に向けた取り組みの状況はどうなっているか、お伺いしたい。

■答弁:久元市長

新規感染者の急激な増加、重症者の増加により、一時医療提供体制は危機的な状況になりました。退院基準を満たすものの、万が一の院内感染や、クラスター発生を恐れる医療機関が多く、この事が転院が進まない一因と考えられたことから、経営面への負担軽減など、安心して患者を受け入れていただく体制を整えました。取組の効果が現れていると考えています。今後、受入れ可能医療機関のリストの共有など、地域の実情に適した転院支援の仕組みを構築することが、病床の活用につながると考えておりまして、民間病院協会など関係機関との協議を進めています。

③コロナに起因する偏見・差別等の防止について

■質問:守屋隆司

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、罹患者及びその家族、また医療従事者等に対して偏見や差別の被害がまだに生じています。本市においても防止に向けて、条例化の検討も含め、取組を強化するべきと考えます。当局の御見解をお伺いします。

■答弁:恩田副市長

まず、市のホームページで基礎知識を分かりやすく説明、偏見や差別の防止を訴えるポスター等を作成し、広報紙、デジタルサイネージ等で啓発しております。また、心のケア対策として、「精神保健福祉センターや区の保健福祉部で電話相談を行う」「医療従事者等への心の相談ダイヤルを設置して電話相談を行う」「ハローワークで月2回、暮らしと心の総合相談会ということで、弁護士、公認心理士等の方々に、感染不安等の電話相談に応じていただく」ということをやっています。

中小事業者への経済支援策について

■質問:守屋隆司

新型コロナウイルスの影響を受けて、多くの事業者が経営状況の悪化に苦しんでいます。本市では、国や兵庫県と連携し、営業時間の短縮要請に応じた飲食店等に対して、感染防止協力金を支給していますが、これまでの売上げ実績にかかわらず、一律6万円を支給する制度には不公平感を訴える声が多く寄せられています。神戸市として市民の声、思いをぜひ国に伝えるべきと考えますが、御見解をお伺いいたします。

■答弁:久元市長

時短要請に伴う協力金につきましては、これを補完する上での家賃サポート緊急一

時金、事業所税の減免措置を行うこととしました。さらなる支援策について、国の支援がさらに拡充強化されるよう、提言・要望を行ってまいります。

中小事業者向け融資について

■質問:守屋隆司

経営状況の悪化に苦しむ中小企業を支援するために、実質無利子・無担保保証料で融資する新型コロナウイルス感染症対応資金制度が設けられました。これまでコロナの影響を考慮し、融資限度額を6,000万円に引き上げる等の対応を行っていますが、信用保証協会による信用補完に係る審査は、従来どおりの基準で実行されているため、事業継続のための融資を受けられない案件が発生しています。信用保証協会等に対して審査基準の弾力化を働きかけるべきです。当局の御見解をお伺いいたします。

■答弁:今西副市長

新型コロナウイルス感染症の拡大は、災害時と同等であると認識をしています。その上で、県そして信用保証協会と一緒に、事業者目線で、中小事業者の一層の資金繰り支援に取り組んでまいります。

三宮のバスターミナルの整備について

■質問:守屋隆司

三宮周辺に分散している中長距離バス乗降場を集約し、新たに整備するバスターミナルは、都心・三宮再整備の主要事業です。

令和8年度頃に完成を目指す1期完成時点での乗車バス数は5バースを予定しているとお聞きいたします。2期の事業が完成するまで、バスターミナルは片肺での運用とならざるを得ない。増設はできないのか。さらに、降車場完成形は2期事業の完成後です。乗車場所と降車場所の距離があまりに離れていることは、利用者に混乱を与えるのではないかと危惧します。降車場所も新バスターミナルに近い位置に移動させるべきだと思います。御見解をお伺いいたします。

■答弁:今西副市長

第1期完成時点で、乗車5バースと待機バースを加えた最大9バース程度を確保することができる見込みです。ミント神戸の既存の8バースを加え、17バース程度での運用開始を予定しています。その時点で、最も便数が多い四国・淡路方面を全て集約する方向です。

そうすると、三ノ宮駅周辺を発着する中長距離バスの乗車便のうち、約4割が1期完成時点において集約されることになり、整備効果が発揮されると考えています。

利用者にとっての分かりやすさを考え、乗車を集約することを優先的に考えてきましたが、御指摘のとおり、降車場所を乗車場所の近くに集約することも重要な視点でありますので、1期集約時点でどうしても乗車場所の近くに集約できないものは、案内や適切な誘導を行うなど、利用者に混乱を与えないよう努めてまいります。

2期の完成時、ミント神戸に降車エリアを集約するという計画です。降車は乗り継ぎニーズが高いということで、鉄道、そしてタクシー等に近い場所に集約。乗車は、ゆとりある待ち時間というものが大事ということで、快適性、利便性に配慮した附帯設備を用意する場所に集約したい。

■要望:守屋隆司

最初に示された計画やイメージパースは、非常に夢がありました。それ以降の計画変更や絞り込み後の資料を、市民に対してもっと広報していただきたい。

三宮周辺では、1日当たり約1,651便の中・長距離バスが発着しており、これらを集約する西日本最大級の新たなバスターミナルを再整備ビル内に整備します。



※事業協力者が作成したもので、そのまま実現されると決まったものではありません。



その他の要望

①エンジニアの人材の育成

プログラミングを学ぶ高校生・大学生等の若年層を対象としたエンジニア等の人材育成事業について、神戸市内にはエンジニア人材育成の能力と経験、実績を積み重ねている教育機関があります。その力を最大限活用されるよう強く要望いたします。

②衛生監視事務所の再編について

コロナ禍で苦しんでいる飲食店等の事業者へ、きめ細かな支援体制が求められる中、市民サービスの低下につながるが危惧しています。組織改正後も市民サービスの低下を招かない取組、また体制の構築を要望します。

自由民主党神戸市会議員団
神戸市会議員 **守屋隆司** 事務所
兵庫区 **もり** **や** **たか** **し**

〒652-0032 神戸市兵庫区荒田町1-7-12中山ビル1F
TEL:078-512-5722 FAX:078-512-5723 <http://www.jimin-kobe.com>

神戸市会を傍聴しよう!!

傍聴とは、市民が本会議の様子を直接見聞きできる制度のことです。神戸市会では、本会議だけでなく委員会(常任委員会・特別委員会)も定員の範囲内で傍聴することができます。本会議場には、車椅子で傍聴することができる場所(4席分)も用意しています。また、手話通訳を希望される方は、事前に市会事務局総務課にご相談ください。



市役所1号館25階の市会事務局で傍聴章の交付を受けてください。会議の始まる1時間前から先着順で受付します。

本会議・委員会のインターネット生中継・録画中継をご覧ください。

神戸市会

神戸市政報告

編集・発行：
自由民主党神戸市議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL078-322-5846
<http://www.jimin-kobe.com>



予算特別委員会で質問する
しらくに高太郎

総務財政委員会 委員長
神戸市議員
垂水区

しらくに高太郎

しらくに高太郎事務所/〒655-0013 神戸市垂水区福田2丁目3-16 TEL078-704-6060 FAX078-709-5252 info@shirakuni.net

特集 令和3年度予算特別委員会において、「建設局」「水道局」に対し、局別審査を行いました。ウラ面に議事録[抜粋]を掲載いたしましたので、ぜひ、ご一読ください。▶▶▶

神戸市の予算 令和3年度

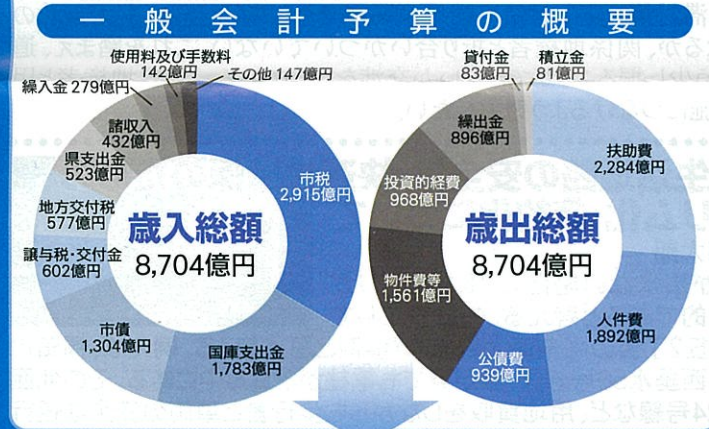
海と山が育むグローバル貢献都市の実現

令和3年度予算では、令和2年度2月補正とあわせ一体的に切れ目なく、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と医療提供体制の安定的確保、市民生活・経済活動の維持・回復に、最優先で取り組みます。また、都心部に近接した海や里山など神戸の豊かな資源を活かした人間らしい、あたたかみのある生活スタイルの創造と、安定した経済成長と市民所得の向上をめざし、公共空間のリノベーションや経済基盤の構築など、暮らしと都市の価値を高めることにより、「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現に向けて確かな歩みを進めていきます。

予算総額：1兆8,531億円

(前年比：-60億円)

- 一般会計：8,704億円(前年比：+317億円)
- 特別会計：6,535億円(前年比：-173億円)
- 企業会計：3,292億円(前年比：-204億円)



神戸市のお金の使い道(予算)をわかりやすく

一般会計の支出を 57万円にします

市民一人あたりにすると

| | | |
|------------------|------------------------------|--------------------|
| 福祉の充実に 23.3万円 | 教育・文化の振興に 9.3万円 | 環境・衛生の向上に 4.7万円 |
| 産業の振興に 0.8万円 | 住宅・まちづくりに 2.1万円 | 道路・公園に 3.4万円 |
| 消防・救急に 1.3万円 | 市会・区役所・市役所の行政の運営などに 5.9万円 | 市債の返済に 6.2万円 |

ごあいさつ

日頃からのご指導・ご支援に感謝申し上げます。今号では、主に令和3年度予算および予算特別委員会での質疑報告をさせていただきます。
さて、新型コロナウイルス感染症対策については、4月より1日のPCR検査数が682から1300検体に拡大され、また、発症予防効果が約95%とされているワクチン接種が始まります。また一方で、リバウンド(感染再拡大)も非常に心配されています。私達としては、国や神戸市からの正しい情報をもとに、健康に留意し、引き続き感染予防に共に取り組んでまいりましょう。

神戸市議員しらくに高太郎

神和台に特15系統が回ります

これまで地元の方々が要望して参りました「神和台」でのバス路線について、4月1日より「特15系統(山陽バス)」が9時台から昼間時間帯に、1日5台程度で中型バスが入ることになりました。

今後、乗降客数を見ながら増便も検討されるとの事ですので、私も実情に応じ交通事業者に対し働き掛けて参りたいと思います。

- 名谷行 神和台口→神和台3丁目→神和台南公園前→神和台1丁目▶▶名谷方面
- 青山台行 神和台3丁目→神和台南公園前→神和台1丁目→神和台口▶▶青山台方面

令和3年度予算案びに関連議案、意見表明を行いました。

令和3年 3月17日

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と医療提供体制の安定的確保、市民生活・経済活動の維持・回復を最優先し、神戸市独自の支援策を創設するなど、市民の命と健康を守ることに取り組むとされている点は評価します。「行財政改革方針2025」に全力で取り組み、安定的な財政基盤を構築し、市民生活の利便性向上と豊かさにつながることを期待し、承認します。

新型コロナワクチンの接種を円滑に進めていきます。

必要とする全ての市民の皆さまにワクチンをお届けするため、「神戸市新型コロナワクチン接種連携本部」を設置し、円滑に迅速にワクチン接種を実施していきます。

接種スケジュール(予定)

国のワクチン供給予定を前提に、まず、65歳以上の高齢者(昭和32年4月1日以前生まれ)への優先接種を行い、次に基礎疾患のある人、その後、一般市民の皆さまに接種を行います。

- ①4月下旬以降、高齢者に「接種券」を郵送
- ②接種券が届いた人は、内容を確認のうえ、ご自身で「予約」
- ③高齢者への優先接種を開始する予定です。

留意事項

- 接種券は接種時に必要になります。大切に保管してください
- 接種費用は無料です
- ワクチン接種は強制ではありません
- ワクチン接種後も、手洗いなどの感染症対策は必要です
- ワクチン供給状況により、接種スケジュールが変更となる場合があります

※ワクチン接種について詳しくは→

新型コロナワクチン接種コールセンター開設!!

078-277-3320

電話での問い合わせが困難な方は、
E-mail: pwd-vaccine-kobecity@persol.co.jp

| | |
|------|--|
| 受付時間 | 平日(月~金)/08:30~20:00 休日(土日祝)/08:30~17:30 |
| 相談内容 | ●神戸市におけるワクチン接種のスケジュールに関する問い合わせ●ワクチンの接種を受けるための手続きに関する問い合わせ●接種券の送付に関する問い合わせ…など |
| 対応言語 | 日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語(日本語以外は三者間通話対応) |

3月15日現在、神戸市に高齢者用ワクチンとして納入される数は、485人分と発表されています。まだまだ僅かです。医療機関等からの要望もあり、高齢者施設等からのクラスターを防ぐことが医療病床の圧迫を防ぐことにつながるという観点から、まず老人ホーム等の入所者から接種するとの方針です。
入所者以外の方々への接種の流れは、記載の通りですが、時期については国からの納入予定が示され次第、神戸市で決定していくこととなりますことをお知らせ致します。



水道局 令和3年3月1日

1. 水道技術職について

■質問: しらくに高太郎
 昨年の予算特別委員会で「専門職の確保」について質疑したところ、「多能工的に担える職員を確保・育成し、少数精鋭の効率的な組織体制構築が必要」と答弁があった。この度、水道技術職が創設されることになり、大いに評価する。役割と今後の見直しなどについて伺いたい。

■答弁: 水道局長/昨年10月、水道技術職を創設した。これまで全市異動で技術職員が入れ替わり、ノウハウが蓄積されない、高齢化、後継者不足、また技術職と作業手を別々に分けて仕事をしていたので効率性を欠く...などの課題があった。今後は、民間で行える業務は委託し、安全に直結する業務は直営を維持し、工事監督や水量調整をはじめ工事積算や設計、水質検査などを技術職が担い、計画的に採用し、水道技術技能の継承を進めたい。

2. 垂水センター等の再編について

■質問: しらくに高太郎
 西区も管轄している垂水センターの西部センター(須磨)への統合は、漏水事故や突発的な事故への対応がしっかりできるのか、危惧する。再考すべきと考えるが見解を伺いたい。また、令和4年春に予定との事だが本当に出来るのか。

■答弁: 副局長/初動対応に遅れが出ないように、例えば、高速道路を積極的に利用し、管轄情報の電子データを迅速に確認しタブレットも携帯、また緊急自動車を活用するなど適切に対応できるよう対策を講じていきたい。図上でのシミュレーションは行っているが、実地検証の必要もあると考えているので、令和4年春を目標としつつも検証には必要な期間は確保した上で実施したい。

3. 4号館から「たちばな研修センター」への移転について

■質問: しらくに高太郎
 市民サービスの低下と業務の非効率にならないか、伺いたい。

■答弁: 副局長/災害時に危機管理部門との連携がこれまで通り取れるのか、検討してきた。1点目、震災から水道施設の耐震化を進め、災害への備えや被害が最小限にとどまるような取り組みを進めてきた。2点目、これまで本庁機能と各センターは離れていたが、東部水道事務所と同じ庁舎になるので現場との緊密な連携は可能となる。3点目、震災から26年、情報通信手段が発展し、業務環境がネットワーク上で運営されている状況で、職員個人もスマホの普及も進み、情報共有や伝達、スピードも格段に向上している。また非常用電源の確保などにより、市対策本部との情報共有や市民向け情報の発信など、対応可能と考えている。

4. 漏水対応について

■質問: しらくに高太郎
 「水道修繕受付センター」に連絡し、業者が2回来て料金も払ったが、漏水箇所が分からないままである...という相談があった。その後、水道局から調査に来てもらったら、漏水を調査する道具で問題の箇所が分かり、直った。「水道修繕受付センター」に修繕(漏水)工事が出来るよう指導・教育を行うべきであり、必要な道具も貸与すべきと考える。また、市内でどの程度の漏水があるのか伺いたい。

■答弁: 西部センター所長/修繕受付センターを通じ、修理業者に内容を伝え、改善を図っていただくという指導をしている。漏水確認をする機器は2つあり、水道局しか持っていないということではなく、たまたま今回は持っていない会社が行ったと考えられる。育成できる環境と機械を捉えて指導していきたい。また、漏水のあるお知らせをした件数が約7300件、そして、前の検針と比べ使用量が多くなっていることをお知らせした件数が約4700件。早急に対処して参りたい。

建設局 令和3年3月8日

1. 垂水駅前のリニューアルについて

■質問: しらくに高太郎
 垂水駅前のロータリー整備についてはここ数年、地元の方とも調査・要望してきた。どのような整備が行われ、事業スケジュールはどうなるのか伺いたい。

■答弁: 建設局長/垂水駅北側は、駅への送迎や荷捌き車両にも対応できるロータリー機能がなく、路上駐車や乗降が多く見られることから、渋滞の発生や車両と歩行者が交錯するなど、利便性や安全性に課題が生じている。駅東側には、都市局が臨時駐車場に建設される新垂水図書館の1階に身障者スペースを含め6台分、駅西側には、平面駐輪場に建設する立体駐輪場の1階に身障者スペースを含め4台分の駐車可能なロータリーを整備することとしている。令和3年度に設計を行い、東側は新垂水図書館の整備と連携して令和5~6年度に、西側は令和4年度の完成を目指している。また西側では、植栽や照明などの改修、今後予定しているアンケート調査で得られた意見を踏まえ、時計の設置も検討したい。

り機能がなく、路上駐車や乗降が多く見られることから、渋滞の発生や車両と歩行者が交錯するなど、利便性や安全性に課題が生じている。駅東側には、都市局が臨時駐車場に建設される新垂水図書館の1階に身障者スペースを含め6台分、駅西側には、平面駐輪場に建設する立体駐輪場の1階に身障者スペースを含め4台分の駐車可能なロータリーを整備することとしている。令和3年度に設計を行い、東側は新垂水図書館の整備と連携して令和5~6年度に、西側は令和4年度の完成を目指している。また西側では、植栽や照明などの改修、今後予定しているアンケート調査で得られた意見を踏まえ、時計の設置も検討したい。

2. 駐車場のキャッシュレス化について



■質問: しらくに高太郎
 新垂水図書館の建設に伴い臨時駐車場がなくなり、その受け皿とされているレバンテやウエステの駐車場のキャッシュレス化を神戸市の他の局にも建設局から働きかけ、着実な事業進捗をお願いしたい。

■答弁: 副局長/建設局が所管している10の駐車場は全て精算機を更新してキャッシュレス決済を導入予定としている。施設のキャッシュレス化は企画調整局が進めているが、機会あるごとに都市局にも働きかけは行いたい。

3. 新垂水体育館への動線のバリアフリー化について

■質問: しらくに高太郎
 福田川交差点の通学路でもある歩道橋を撤去するとかしないとかという意見がある。再度この動線の整備方法を検討していただきたい。



■答弁: 建設局長/出来る限り歩行者の安全対策を行うという事で、歩道橋は撤去しない方向でまずは考え、例えば、歩道橋の架け替えやエレベーターが設置できないかなど、様々なことでバリアフリー化できないか検討したい。

4. 高丸インター交差点付近の今後の対応について

■質問: しらくに高太郎
 北向き車線をそれぞれ1車線ずつ確保し、矢印信号も設置され、一定の効果がある。今後、第2期工事をどのような方針で対応するのか。また商大線と西垂水257号線の合流部分についても、道路整備として考えていただきたい(要望)。



■答弁: 副局長/昨年11月15・19日、朝7時から12時間の交通量調査を実施した。左折の青時間が長くなったことで流れが良くなっており、目立った渋滞は発生していない。さらなる渋滞対策と安全対策の効果が期待できる2期工事は、交差点北の西側拡幅工事となるが、関係地権者と折り合いがつかない。これを踏まえ、道路線形を東側にもう少し振ることができないか交渉を行っている。今後、地権者と用地交渉へ進み、実施につなげるよう努力したい。

5. 幹線的な生活道路の安全性・快適性確保のための電柱のスリム化・集約化について

■質問: しらくに高太郎
 無電柱化事業が出来ない場合に、電柱のスリム化・集約化が現実的であると考えている。先日施工していただいた潮見が丘2丁目の高丸商大線は、好事例と思っている。例えば、福田川右岸の道路である西垂水58号線は、誰が見ても電柱がど真ん中にある。その他西垂水264号線や224号線など、用地買収をしながらも歩行者と車両の安全な通行を確保するため、電柱のスリム化・集約化を進めてほしい。



■答弁: 建設局長/無電柱化事業が困難な場合、スリム化や集約化は一つの解決手段であると考えている。ご指摘の高丸商大線の道路改良事業は、非常に良い工夫した事例ではないかと思っている。電線管理者とも一緒になって検討し、安全で快適な道路空間の確保や人にやさしい歩行者空間の整備について努力したい。

6. 塩屋多井畑線の整備について

■質問: しらくに高太郎
 これまで10数年、通学路でもある塩屋多井畑線の整備について、機会あるごとに申し上げてきた。平成30年度から大谷交差点北側の一部区間において事業化されているが、今後、どのように進めていこうとしているのか、また用地交渉がまとまったら、買収していく方針であるのか伺いたい。



■答弁: 副局長/道路幅員も狭く見通しも悪いということで、歩行者の安全面など多くの課題を抱えており、整備が必要である。そこで、早期に整備効果が期待できる大谷交差点以北から公友橋までの約210メートルの区間を事業化し実施している。令和元年度から用地測量し11件の用地買収が必要であることが分かり、現在交渉を行っているところであるが、相続の関係や用地境界の認識のズレなどもあり、境界確定に時間を要している。またお住まいの方も多くおられ、移転先をどうするのかといった課題もあり、用地買収には相当の時間がかかると考えられる。交渉がまとまり合意できた時点で個別に買収し、進めていきたい。

より良い神戸・垂水へ!! 目標にダッシュ!!

神戸市会を傍聴しよう!!

傍聴とは、市民が本会議の様子を直接見聞きできる制度のことです。神戸市会では、本会議だけでなく委員会(常任委員会・特別委員会)も定員の範囲内で傍聴することができます。本会議場には、車椅子で傍聴することができる場所(4席分)も用意しています。また、手話通訳を希望される方は、事前に市会事務局総務課にご相談ください。

手続き
 市役所1号館25階の市会事務局で傍聴章の交付を受けてください。会議の始まる1時間前から先着順で受付します。傍聴の際はマスク着用で、発熱(37.5℃以上)など、風邪症状があるときは、ご遠慮ください。

本会議・委員会のインターネット生中継・録画中継をご覧ください。
 神戸市会 検索



山下てんせい

自由民主党神戸市議員団 市政報告 vol.15

市政に関するご意見はスマホカメラで
QRコードを読み取っていただく
と簡単です
メールフォームに直接つながります→



山下てんせい

検索

西区小学校でおきた学級崩壊問題について (2021.03.05 教育委員会予算質疑)

1. 一年半授業成立せず



昨年末、西区のある小学校の6学年が機能不全に陥っているという相談を受けました。ご相談いただいた保護者のお子さんはクラスの状態に精神的なショックを受け、体調不良から長期登校不能状態となっているということでした。この始まりは5年次に遡ります。一部の生徒が2学期から落ち着かない雰囲気となり、授業を聞かず、教師に対しても暴言や反抗的な行動

が目立つようになりました。聞き取りによると、その理由は教師に対する不信感にあり、次第にクラス全体を巻き込んでコントロールを喪失し、以来最長1年半も授業にならない状態が続くこととなったのです。またその因果関係についても学校から保護者への説明が不足していたというご指摘を受けました。

そこで山下てんせい議員は昨年12月より同会派の岡田ゆうじ議員（垂水区）の協力も得ながら、関係する保護者からの聞き取りを開始し収集した情報をもとに教育委員会に対し調査と改善を要望してまいりました。あわせて学校として因果関係の認定と、影響を受けた子供たちへのフォローを要望してまいりました。



その結果当該小学校の校長先生は、学級崩壊問題が、生徒の学習遅れや一部生徒が身体の不調を起こした一因であると認め、後日保護者の前で謝罪されました。また学校や教育委員会により、卒業まで学習支援や心のケアに努めるという方針が示されました。しかし他の小中学校においても同様な状況にあるクラスはあると思われまます。そこで今回の事例をこれからは生かすため、山下てんせい議員は3月5日の予算特別委員会教育委員会審議において以下のような質疑を行いました。

※本稿に関連した思いや意見についてはfacebookにも記事にしておりますので、そちらもご覧ください



Q 教育委員会は5年次における学級崩壊状態は把握していましたか。

A 住谷次長 当該校の5年時における状況についても把握をしておりました。当該校は、2学期から5年生の一つのクラスの児童数名が、教員の指示に従わずに、授業中に立ち歩いたり等があったため、総務学習担当が当該クラスに入り複数指導する体制をとっているとの報告を受けております。ただ教育委員会としては、当該校に特別な支援が必要な状況であるとは当時認識しておりませんでした。

山下議員

○結果として教育委員会が当該学校に対する支援を本格化したのは6年次の2学期からということになってしまったのです。私はこの点を問題視しており、迅速な対応があればここまで長期化することは無かったのではないかと思います。

Q 教育委員会と学校園の連携やガバナンスについて、今後どのような改善をしていきますか。

山下議員 日ごろから学校現場と教育委員会事務局の連携を深めておく必要があります。2021年1月下旬に提出された、東須磨小学校における教員間ハラスメント事案にかかる再発防止委員会による報告書においても「組織体制・制度上の課題」として「管理職のマネジメント力不足」「学校に対する支援」についての指摘がありました。校長先生や教頭先生からの包み隠さぬ報告と、それを受ける教育委員会事務局がフェアに聞く姿勢があれば、当該問題はもっと早く解決できたと思われまますがいかがでしょうか。

A 長田教育長 (答弁要約) この事案について重く受け止めている。しっかりと検証し、一つ教訓として今後の対応に十分に生かしてまいりたい。ご指摘のとおりガバナンスの強化と学校への適切な支援、これは裏表の関係だと思っている。そのために今年度から監理室を新設、地区統括官を配置し、また学校法務専門官の増員等、体制を強化した。

※2020年に新設された「地区統括官」が訪問することで、学校における課題を把握し、教育委員会に持ち帰り対応するという体制になりました。また学校現場でも、管理職がマネジメント力を十分に発揮しなければならない、まだまだ不十分なケースがあると思う。そして事態が深刻化する前に、より早期に初動段階で事務局の方へ一報を入れる、相談をするということで、学校の管理職として危機管理の感度というものも高めてもらう必要があるのではないかと考えている。これまで以上に事務局と学校園が連携をしなければならない。そこで地区統括官等の状況確認も踏まえて、事務局の中でケース会議を開催するなど、組織横断的に教育委員会としての支援を協議することで、事務局内で情報共有、連携強化に一層努めていく必要があると考えている。

山下議員

○このように教育委員会側も体制を整えたという答弁でした。しかしここで、小学校と教育委員会が講じた対策について効果の検証と改善はどうであったのかという疑問が浮かび上がります。

そこで山下てんせい議員は会派の意見に以下のような要望を付しました。

- 教育委員会は学級崩壊という問題に真摯に向き合い、日常的なPDCAサイクルのチェックによる検証と改善を継続的に行うこと。
 - 学級崩壊の状態を早期に解消するため、組織的かつ迅速に対応する研修や訓練を行うこと。
- また、この内容は予算特別委員会の委員長報告にも盛り込まれました。

2020年12月2日 西区の道路整備に関する陳情活動を区下各自治会の了承、連名のもと行いました。

陳情要旨

- 1 西バイパス整備事業において、側道整備も合わせて早期完成をお願いすると共に、県道とクロスする部分の混雑緩和を考慮いただき、立体交差等の策を講じられること。
- 2 国道175号の4車線未整備区間において、神戸市としても用地買収を近々に完了するため早期完了に向けて優先的に予算措置をお願いすること。

参加議員：【神戸市会】 山下てんせい、坊池正 【兵庫県議会】 谷口俊介



首相官邸にて、内閣官房副長官の坂井学代議士と面談

坂井代議士は横浜市戸塚区選出との事で、バイパス整備の課題を共有できました。特に南北の動線が重要という点で力強い返答をいただきました。

国土交通省にて、国土交通大臣政務官の鳩山二郎代議士と面談

湾岸線西伸部など大規模開発が進む神戸に注目されており、優先度が期待できます。ローカルな課題にも耳を傾けていただき、ともすれば隠れがちな西バイパス事業も視察いただけるかもしれません。「必要な道路をいち早く整備するのが国交省の役目。予算をしっかりと確保するよう頑張ります」と力強いお言葉を頂戴しました。

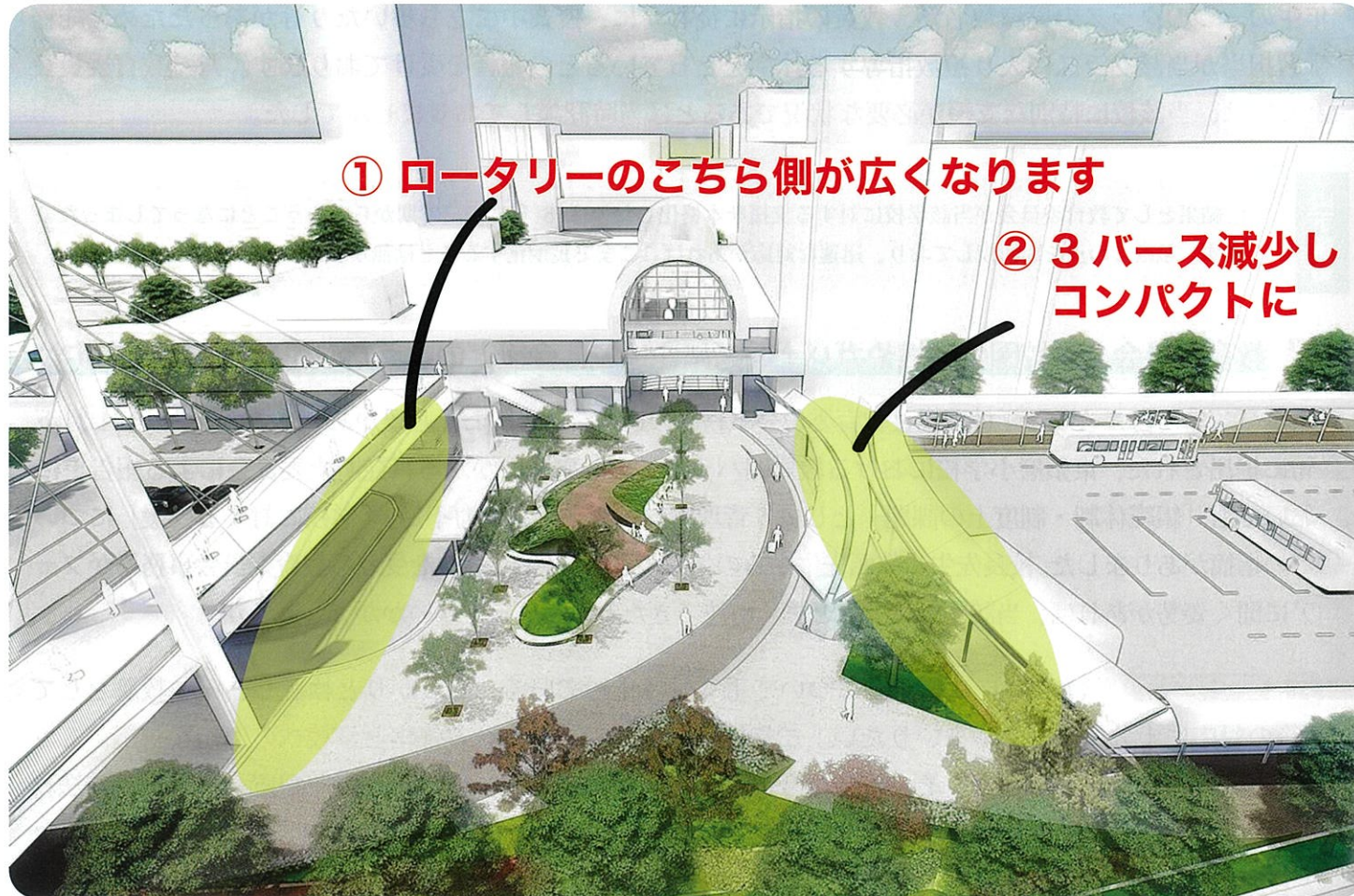


財務省にて、藤崎主計局主計官(国土交通、公共事業総括係担当)と面談

我々の陳情にしっかり耳を傾けていただき、事情は把握していただけた手ごたえがあります。ただ、まずは国交省からの要求あっての話なので、神戸市としても着実に準備して欲しいという趣旨のご意見をいただきました。

内閣府にて、藤井比早之内閣府副大臣と面談

この度の陳情において色々お世話いただきました。感謝申し上げます。また副大臣室では、陳情内容は勿論のこと、溜め池をはじめとした地域課題についてざっくばらんに懇談する事ができました。



① ロータリーのこちら側が広がります

② 3 バース減少しコンパクトに

自由民主党神戸市会議員団が毎年市長へ要望する事項の中で、長年「西神中央駅前ロータリーの再整備」を訴え続けてまいりましたが、この度駅前リノベーションの一環として実施されることになりました。

① 一般車・タクシーロータリーの改良

一般車・タクシーロータリーが一部拡張され、混雑の緩和を図ります。

② バスロータリーのコンパクト化

このことにより歩行者空間を確保し、開放感のある駅前を実現します。

③ 歩行者空間の高質化

植栽や照明、ベンチなど、まちの顔となる空間を整備します。

具体的には

このような計画となっております。
このうち植栽については、根上がりやムクドリの栄養などの問題から、少なめにしてほしいということを見直し上げました。「広過ぎるバスロータリー」「タクシーロータリーのトラブル」の二つの課題は一步前進です。ただし駅西の活性化についてはまだまだ課題が残りますので、引き続き提言してまいります。

詳しくはホームページでもご覧いただけます

山下てんせい

検索

神戸市会議員

ごとう
五島

だいすけ通信

2021年
春号

http://www.goto-daisuke.net mail@goto-daisuke.net

ごあいさつ

桜の季節ですね、皆様いかがお過ごしでしょうか。

神戸市議会では、予算議会も大詰めを迎え、令和3年度の予算をご紹介できる時期に参りました。全体予算の概要については3月28日(予定)に新聞折込等される自由民主党神戸市会議員団全体の市政報告に譲り、新型コロナウイルス対策についてはよく報道されておりますのでこちらでも一般報道に譲ります。

当市政報告では、**市民の皆様から付託された具体的な予算の実現可否を中心に、教育関連での質疑内容、北区を中心とした渋滞対策・道路改良**などをご報告させていただきます。是非とも全てお読み頂き、ご意見など頂けますようお願い致します。

教育政策
道路改良
予算関係

教員のやる気と元気を向上させる制度について

五島 世の中、教育委員会は非常に遅れていて悪い、教育委員会のせいになれば丸く収まるという風潮がありますが、これは大きな間違いだと思っています。

神戸の教育理念「人は人によって人になる」一番最初の「人は」というのが子供たちで、2番目の「人に」という人は、教員の皆さんであつたり友達であつたり、もしくは間接的に教員の皆さんを束ねている教育委員会事務局の皆さんです。様々な不祥事などで、教員の皆さんは委縮し疲弊していますが、**子供たちが伸び伸びと教育を受けるためには、教員が楽しくやる気を出している状態が必要だと強く思う。**

教員自体が教育について、積極的に提案したり、様々な改善にチャレンジしたりできることが大切で、学校だけでなく教育そのものを良くする事で士気の向上につながるのではないかと。教育委員会では、**教員に向けて行うアイデア募集や改善提案表彰制度はありますか？**

長田教育長 教員1人1人が学校全体のことを考えて、そして提案をして達成感を得、士気の向上につなげる事は極めて重要だと考えております。市全体でやっております「こうべ改善～案・DO・トライ～」という改善提案制度はあるが、参加は圧倒的に少ないので、**もっと参加を促していきたい。**また教職員が自発的に学校運営に関する課題を抽出をし、改善案を提案できるような仕組みづくりを民間コンサルにお願いしている。

五島 我々自民党は教職員組合とは敵対関係のように思われているかもしれませんが、**そうではありません。**教職員組合が提案しているボトムアップの教育改革は行政と現場への改革提言であり、とてもいいものになっている。頑張るって、自分たちが学校を良くできるのだという空気づくりをやっていただきたい。



時間を要するので負担になることは認識している。今後は、共通テストではないですが、**テスト作成の参考となるようなサンプル問題を教育委員会のほうが提示をするなどして、負担軽減に努めて参りたい。**

五島 学習塾によっては、担任や担当教師の過去問や予想問題を持っていて、これが結構当たる、いい点を取ってしまう。経済的な理由から地域に格差が出てしまう事もあるし、絶対評価だといいつながら相対評価になってしまっている問題もある。

これから**GIGA スクール構想もあり、IT化によるメリットを大きく取らねばならない。**先ほどサンプル問題という答弁があつたが、そこからでもいいのでテストの公平性も担保するために取り組んで頂きたい。



学校施設の有効活用について

五島 平成28年の政令指定都市の屋内スポーツ施設の人口当たり面積の順位として、神戸市は20政令市中14番目であり、子供の体力も落ちている。**運動場や体育館などは教育施設ですけれども、これをもっと市民と子供の体力づくりに使わねばならない。**それが予防医療にもつながるし、子供の体力づくりにもつながっていくと思う。

学校施設には教室や図書館、グラウンドや体育館など、地域にとっても非常に利用価値の高い施設がたくさんあり、**学校施設開放で利用されているものの、十分に地域に有効活用されているとは言えない。**もっと地域でのオープン利用を進めるべきだと思うがどうか？

長谷川教育委員会事務局長 一定のルールの下で行う必要はあるが、今以上に幅広い皆さんに御利用いただけるよう、さらなる工夫を前向きに考えていきたい。

五島 発想の転換をして、**例えば、運動場と体育館だけは教育財産ではなく、市長部局に移管して管理をし、それを教育部門が借りてという体にしてしまえば、教育委員会の責任も外れて、使いやすくなるのではないかと？**

事務局長 現行の法律では問題があるが、ほかにもどのような仕組みや工夫が考えられるのか、**他都市の事例や、本市の市長部局の資産活用部とも意見交換も含めて前向きに研究していきたい。**

五島 頑張りますと言っていたので信じます。毎日子供が遊びたいなと思ったら、自転車であつと走って行って、ボール持って行って、運動場でサッカーしたり、野球したりできるような環境を整えていただきたいと思っておりますので、頑張ってください。

定期テストの共通化(神戸市センターテスト化)について

五島 私からの「～案・DO・トライ～」なのですが、いま定期テストといつたら、基本的に学校の先生が全部つくっておられて、全部採点もされておられる。これを、**各校で共通問題を使って一斉に実施する方式に変えればどうか？** 教員の多忙化対策にもなるし、各校の学力の把握が容易になると思われるがどうか？

山下総合教育センター所長 各校ごとに学習進度が違ったりするため、なかなか困難な面がある。一方でご指摘の通り、テストの作成には非常に



この令和3年度予算で実現、前進する事項を

中学校給食全員喫食センター or 親子方式へ

前進
しました

給食業者が弁当箱に盛り付けてから各校に配送、また、給食を食べるかどうか選択する方式であった、ランチボックス・デリバリー方式を改め、給食センター or 近所の小学校で作った食事を食缶で教室まで配送し、教室で配膳を行う形式、また全員が喫食する方式へ方針を変更しました。

2014年から始まった神戸市中学校給食ですが、当初から評判も良くなく、異物混入などの問題もあり、当初の委託事業者が契約解除になるなど無茶苦茶でした。そのときから長年訴えてきた中学校給食センター方式化・全員喫食がやっと実現する方向へ動き出しました。

やっと方針転換させる事ができた訳ですが、ハッキリ言ってこの7年間中学生の皆さんには長く我慢をさせてしまいました、また、給食をあきらめた保護者の皆さんにもお弁当を作るという大変な時間を頂きました（これについては愛情弁当です、作りたかったという保護者の方もおられたのは事実です）

さらに導入までの準備がかかるため、本格実施まで数年が必要です。子ども達を待たせてしまうことになり、いま中学生の皆さんが卒業するまでの導入は難しいかもしれません。



いまのランチボックス形式給食は大人が食べると普通においしいのですが、子供の評価は低く喫食率は30%程度

今後は、どのように導入していくのか？ に議論の焦点を絞って参ります。



- 神戸市はとても広いですから、親子方式導入可能なエリア選択=小学校の給食室の能力や生徒数によって近所の中学校の分も給食を作るかどうかの検討
- 子供が多く給食室の余剰能力が無い地域では、給食センターの設置が必要になりますが、この場合でも現状東灘区にランチボックス給食のセンターを整備してくれている民間企業の万福さんなどの工場をそのまま転用できないのかを検討
- あらたにセンターを整備する場合でも、市が整備するのか、民間整備にするのかを検討

過去の失敗に学び、生産能力のない工場に多くを任せるわけにはいきません、3万人以上いる中学生に安定的に、暖かくておいしいものを提供するためには、しっかりした調理能力を備えたセンターを複数用意する必要があります。

他にも、給食センターを作る場合には、地域の皆様にも是非お手伝い頂きたいと思うのですが、少しでも多くのお給料をもらっていただくため、センターの運営が民営か直営なのかについても、しっかりと検討をしていく必要があります。



2014年の給食異物混入事件時より 問題の指摘とセンター方式への転換を要望して参りました

妊産婦へのタクシー利用助成

実現
します

コロナ禍においてもうすぐ赤ちゃんが生まれる友人夫妻からのリクエストを元に、市のコロナ対策に妊婦支援が無い事から妊婦タクシーチケット施策を提案。2020年12月まで10,000円の妊婦タクシーチケット配布が行われておりました。新年度予算でも妊婦タクシー制度を継続するよう、多くの方から要望を頂き、多くの他会派からも同様



要望を出して頂きました。新年度は5,000円に減額ですが、妊婦さんが助かる施策が延長された事は喜んで頂けるかと思っています。

新年度予算成立により、2021年1月から妊婦登録をした方にも切れ目のないようチケットを配布予定です

済生会兵庫県病院と三田市民病院の統合へ向けた検討

前進
しました

済生会病院と三田市民病院の統合に向けた検討会（神戸市含む）が組織され、統合に向けた前向きな検討がスタートされました。また、済生会病院への補助予算が市内で唯一の周産期救急センターへの支援として決定しました。

済生会病院および三田市民病院については、両院とも医師の確保が今後の問題として顕在化してくること、三田市民病院については赤字が大きく（三田市民一人あたり約16,000円/一年あたり負担）などの問題があります。両院を統合し、北神および三田地域においてより経営しやすい規模での再整備を行い、経常収支の改善・統合による三田市民の負担軽減などを行い、地域に高度な医療を受けられる医療センターを長期的に確保するべきであると議論して参りました。

統合後の医院にこども急病センターの併設をすること、統合後の医院への公共交通での移動手段の確保を両市連携して行う事などを要望しております。

こども医療費助成の拡充

前進
しました

現状中学生までの医療費助成を皆さんの税負担で行って参りましたが、令和3年度からは、高校生について入院費を助成する事となりました。



学校施設の地域への開放促進

前進
しました

現在、週3回までの学校開放による体育館の開放を毎日開放する方針へ

市民の財産である学校施設が学校として利用されるほかは、ほぼ眠っているのが不経済である事。こどもや市民が運動する場としての開放を進めるべきであることを議論してきました。(当市政報告の表面に記載した質疑含む) 結果として、まずは体育館の施設開放枠の拡大が実施される事となりました。施設開放委員の皆様には大変な負担をおかけしますが、ご協力をお願い致します。

物流用地の確保について

前進
しました

市内に不足する物流用地の確保をする事で、雇用確保・固定資産税等収入確保・事業者の利便性確保および企業誘致・神戸港取り扱い貨物増加を早急にすべきと、議論して参りました。令和3年度予算において、西神戸ゴルフ場を物流基地に変更するための調査費が計上されました。



「複合産業団地に近い・インターが近い・早急に確保を行うため」という理由との事で、市有のゴルフ場を対象とする事になりましたが、市が自費で行う事が良いのか、民間提案による民間事業を認める事がいいのか? 全ての可能性を検討すべきと申し入れをしております。



私道街灯助成の拡大

実現
します

リノベーション神戸と銘打ち、市道のみをLED化・防犯灯の増設を行うことでは神戸市全体を明るくすることは出来ないという事で、以前より私道の防犯灯についても実質的に地元負担無しで増設できるようにせよと申し入れをして参りました。

(元々の提案は、LED化とリース等民間管理導入により削減できた経費で私道の街灯も全て市道同様の管理をすべきという案でしたが、導入されず)

令和3年度予算でようやく、実質地元負担無しでの導入が出来る事になりました。



済生会兵庫県病院 Web サイトより



えき街再整備

前進
しました

神鉄沿線 唐櫃台駅・大池駅・花山駅・神鉄道場駅前などをリニューアルする方針が決定



神戸市が整備したニュータウン(市営地下鉄沿線・ポートアイランド・六甲アイランドなど)以外のオールドニュータウンについても市民の街としてしっかり手を入れるようにと議論してまいりました。以前に決定しております谷上駅前整備・岡場駅前整備などに続き、この度

3駅でのリニューアル予算が計上されました。今後は、西鈴蘭台駅・山の街駅その他についても駅前再整備の動きを強め、私たち市民の暮らしやすい街づくりに取り組んで参ります。

その他、道路関連の詳細は外面の「北区の道路はこう変わる」コーナーをご覧ください

北区の道路はこう変わる！～最新版～

有野台 五社北交差点 2021年3月末までに完成予定

有野台から神戸三田線へ出るときに通る五社北交差点は、かかる**有野大橋**が狭く右折レーンがないため、右折車が2～3台連続すると全ての車が**進めなくなる**事などから、酷い渋滞が発生する交差点でした。

皆様から交差点改良を早期に行うようにご要望頂き、周辺の皆様、工事業者さんのご協力のおかげ様をもちまして、3月末までに完成予定。本市政報告をお読みいただいている頃には**有野大橋拡幅工事+交差点の改良工事が完了**している頃かと思われます。



唐櫃 IC ～有馬口トンネル

拡幅工事が進む神戸三田線、有馬口交差点付近の拡幅工事が終了し、2018年からトンネル工事が開始され、トンネル自体の工事は2020年10月に完成しておりますが、その後既存道路との接続工事を行っており、予定通り進捗しております。

接続工事は**2021年度中に完成～全線開通予定**となっております。その区間の次は狭小な有馬口～五社 IC 間の改善要望を継続しております。



神戸三田線 皆森～谷上東行き 2車線化

もともと箕谷インターチェンジ付近の信号のタイミングだけでも何とかならないだろうか？ という要望を建設局にしていたところから、2017年に行った予算議会時の私の質疑において皆森から北勝までの区間を2車線化して渋滞解消をしようという規模の話になり、2018年度調査にて**谷上交差点までを2車線化**する計画になりました。

その後、途中にかかる橋梁の強化工事なども必要である事から、1期工事(皆森～北勝)と2期工事(芝床～谷上)に分割して工事を行う計画とされましたが、地元調整などの結果、1期と2期の順序を入れ替え、**まずは芝床～谷上間の工事**を行う事となっております。



2021年4月から工事が開始され、年度内に完成する予定です。**皆森～北勝間**については、地元調整の後**2022年度に工事着手の予定**とされております。引き続き、地元の皆様のご協力および、工事期間中ご通行の皆様のご協力をお願い致します。

有馬街道 青葉台口～日の峰 5 交差点

有馬街道は降雨量が一定以上を超えると通行止めにならない道路で大雨のために**毎度通行止め**になります、また、元々国道であるのに道路幅が極端に狭く、大型バスなどが通行するときには対向車が止まって待たねばならない箇所もあります。

2017年10月の台風21号の折にも約48時間通行止めになり、根本的な解決をしてくれるよう強く要望、2018年度には概要調査が実現。2019年度に**青葉台口の東から大滝口まで抜けるトンネル案**または**拡幅案**も含め地形地質調査および予備設計を行い、2020年度には詳細設計および用地買収準備が行われました。

2021年度には、トンネル設備詳細設計および用地買収が行われる予定となっており、**順調に用地買収が進めば2022年度から工事着手**に取りかけられる見込みとなっております。



生田川右岸線拡幅～渋滞対策強化

山麓バイパス上り線は三宮方面と生田川方面の2方面へ出口がありますが、生田川方面出口は慢性的な渋滞が発生、以前より渋滞解消のため山麓バイパストンネルとポートアイランドへ抜ける港島トンネルの直通も含めた対策を要望していますが、この度車線増のための詳細設計予算が決定しました。**各所で3車線へ拡幅**、阪神高速西神部完成にあわせて、将来は山麓バイパス～港島トンネル直通に取り組みます。



小東山6交差点渋滞対策

コスト渋滞ともいわれる小東山6交差点南行きの渋滞対策、垂水区の交差点ではありませんが、私からも渋滞対策(右折レーンの延伸)をお願いしておりました。

この3月をもって、右折レーン延伸工事が完成しております。

工事中の五社北交差点を視察

多くの道路事業が並走し完成するものも見えてきました、皆様の要望をあきらめずに発言し続けた結果が実ってきたものであり、私自身も道路利用者として非常に楽しみに思っております。災害に強く、渋滞にくい道路網の整備のため、引き続き取り組んで参ります。出来ない事も、スピードが遅くなってしまってもありますが、皆様にはできるだけ多くの要望をお寄せいただきますよう、引き続きお願いいたします。